

校長室だより

No. 27

平成 27 年 11 月 13 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

学校でしか得られない楽しさを大切にして ー修学旅行を終えてー



心地よい冷たさをほおに感じる朝に、店を開け始めた人々の様子を横に見ながら、急な坂道をゆっくり登っていきます。両脇の店並みに閉ざされていた道の先が少しずつ開けてくると、朱色の清水寺の門が私たちを迎えます。舞台上上がり西を望むと、1日目に降った小雨のおかげで、空気中にあっただぼろりが一掃され、赤く色づいた木々の間から京の町の景色が、鮮やかに遠くに広がっていました。

苔のじゅうたんの上に、赤ん坊の手より小さな赤や黄色の紅葉をのせ、コントラストを引き立たせている鹿苑寺。日の暮れが早いこの季節に、夕方間近の日に照らされて金色に輝く金閣が見えた瞬間、歓声があがりました。金閣が遠のきバスに乗り込むとき、一番後ろで「もっと旅行を続けたいなあ」と、ふっとこぼした子の言葉を拾いました。

6年生61人の心にはどんな景色が残ったのでしょうか。世界遺産を含む歴史ある名所を同じ六ツ美中部小学校に通う仲間と訪れたことは、価値ある学習と経験になったと思います。それに加え、寝食をともにしたこと、みんな楽しい時間を過ごそうとバスの過ごし方も自分達で準備し、楽しい時間を作り上げたこと、仲間と何曲も大合唱したあの高まり。そこにいなければわからない、二度と味わうことのないだろう時間と空間がありました。

子供たちは「みんなと過ごすことは楽しい」「人と楽しむ時間を工夫することは楽しい」と感じる経験を持ちました。幸せとは何か、

その価値観を子供たちはまたひとつ増やしたように思います。きっとこの経験が、人生に生きる大切な原体験になっていくのだと思います。

学校には、一緒に過ごしている仲間とでなければ得られない時間と空間があります。ある先輩が、4月の始めに「教育は情を育てる場」と一言はがきに書いて送ってくださったことを思い出しました。今回、改めて教育は何が大切かを、子供たちが考えさせてくれた機会となりました。

ちゅらぼに感謝 ー教室カーテンの製作・2年生町探検補助ー

11月4日（水）～6日（金）に「ちゅらぼ」（六ツ美中部小学校地域教育ボランティア）の活動として、教室カーテンの製作ボランティアをお願いしました。西日が差す今の時期からカーテンが必要になります。きれいなカーテンも



ありますが、破れていたり茶色がかっていたりしたカーテンもありましたので、古いものを変えたいと考えていました。本校の教室は14学級＋わくわくルームや特別教室等があります。基本的には1教室4枚（大きい教室は4枚以上を使用）使いますから、相当な数が必要です。

今回3日間、午後からの2時間でなんと51枚が完成。「ちゅらぼ」に参加してくださったみなさんのおかげで、気持ちのよい教室環境を子供たちに提供できます。ありがとうございました。

また、今週11日（水）には、2年生の町探検がありました。今回の探検は、学区の中で行ったことのない神社やお店、公園などへグループで訪問し、どんな場所かを調査します。「ちゅらぼ」として御協力いただいた方々のおかげで、たくさんの場所に、安全に自分達の



力で訪問・調査をする学習ができました。先生が、全て見学に連れていくのでは、大違いです。2年生の子達は、しっかり訪問場所の特徴がつかめたかな。あとは、本人達の関心・追究力・まとめに期待するところです。

「ちゅらぼ」活動として、みなさんに様々お助けをお願いしてきました。御自身のお子さんの学年とは関係なく、御協力いただく方々が何人もいてくださいます。こんな素敵な地域の方々はいません。学校をお助けいただき、地域の子供たちの教育にお手伝いいただき、本当に感謝です。